

南部御牧飯野御牧ハ、弘安中日蓮法師ノ書中ニ見ユ、飯野ハ南部内ナリ、今作大野共ニ河内領ニ在リ、

〔甲斐叢記二〕牧名

南部河内領飯野は今大野と作かきて、大野相又、波木井の三村は地勢も自ら異なれば、馬城うましろの名をも別に立て、飯野の御牧と稱しなるべし。

〔甲斐國志二〕牧馬

八田ハッタ御牧ハ天福元年西郡北鷹尾神社舊記ニ見ユ、今上八田村存セリ、亦續日本後紀載スル馬相野空閑地トハ、今ノ有野村ニ相當ベシト云、

〔甲斐國志四十九〕巨摩郡西郡筋

一八田イハタ御牧 高尾村御崎文殊社ニ掛鏡一面アリ、圓徑八寸六分、内ニ三體王子ノ像ヲ鐫レリ、銘ニ甲斐國八田御牧北鷹尾、天福元年大癸巳十二月十五日、大勸進蓮幸房弁妻トアリ、加賀美、小笠原邊ヨリ北ヲ里人ハ多ク八田庄ト云傳ヘリ、今上八田村存セリ、此所ニテハ西山ノ別名ヲ八田山トモ云ナリ、中續日本後紀、承和二年四月丙子、甲斐國巨摩郡馬相野空閑地五百町賜一品式部卿葛原親王トアリ、馬相野ノ地今不詳、按ニ鳳凰山、駒岳ハ靈駒ヲ産スルニ名アリ、御勅使川ノ北ニ方駒場村相對シ、其續キニ有野村アリ、有野ハ即相野ノ訛轉ナラン、相ノ言ハ合ナリ、草馬ノ相會集スル義ナルベシ、因有八田御牧名、斯ル曠原遼野ニ非ズンバ、空閑五百町ノ地、何ノ處ニカ索ムベケンヤ、承和ノ後百餘年ニシテ倭名鈔成リ、而テ此處ノ郷名ヲ載セザレバ、馬相野ハ唯原野ノ名ナランノミ、馬アヒ野ト訓ジテ可ナルベシ、

〔甲斐國志三十九〕山梨郡栗原筋

一牧庄 夢窓國師傳記ニ、元德二年云々、出鎌倉往甲州牧莊、創慧林寺居焉云々、法光寺鐘銘ニ、甲